

## 委員会視察報告

### 総務文教 常任委員会

視察日 7月15日～16日

視察先 長野県木曾町

目的 公共交通システム

宍粟市も合併4年目となり、

まちづくりの骨格ができつつありますが、中山間の当市は神姫バスの赤字路線の休止を受け、北部地域の公共交通確保が深刻化しています。宍粟市と同じ問題を抱えている木曾町を訪れ、生活交通の先進事例を学びました。

木曾町では予備計画と準備に4年の歳月をかけ、H19年度から「自前の公共交通」を開始し、拠点となるJRの駅、病院、役場や郵便局、学校、スーパーを結ぶ幹線と旧町の谷々を支線でつなぐ仕組みでした。また、問題点としては旧町村間で合併前のそれぞれの運行形

木曾町の公共交通幹線バスから支線に乗り換える住民



態によるサービス格差が続いていることや、年間1億3千万円近い赤字で財政を圧迫していること等で、安定した運営が危惧されていることも現実の姿でした。

当市の公共交通システムは現在検討中ですが、市民生活の向上につながる公共交通の確保が大切です。今後モ交通システムの活路を見出すべく更に調査・研究を進めてまいります。

### 民生生活 常任委員会

視察日 7月2日～3日

視察先

岡山県真庭市

認定こども園『落合こども園』

広島県福山市

知的障害者授産施設『せんだんの家』

目的 認定こども園立ち上げに向けての設立の経緯や、幼稚



せんだんの家

園・保育所との違い、問題点等を研修する。

障害者自立支援法に基づいた事業を展開している『せんだんの家』を視察し、宍粟市においての事業展開に向けた視察を行う。

視察結果 今回視察した2施設とも宍粟市の行政上の懸案事項であり、大変参考になった。